

近現代演習(005) ヨーロッパ諸国の侵略とアジア

3-1. 19世紀イスラーム社会

問 1. 【誤文選択】 1871~79年のエジプト

②スエズ運河の建設やその株式の保有をめぐって、ドイツによる財務の管理を受けるようになった。

※スエズ運河について。

- ・フランスとエジプトの共同出資によってフランスの外交官[1. レセップス]の指導で1869年に完成。
- ・1875年、ナブト=アリ家の太守イスマーイルは財政破綻を背景に保有するスエズ運河の株式を[2. イギリス]政府に売却した。
- ・英の[3. ディズレーリ]はコギヤ系財閥[4. ロスチャイルド]家から株式買収費用を借用した。

問 2 【正文選択】 1880年代のフランスの対外関係

①ドイツにアルザス・ロレーヌを割譲した。

※ ドイツにアルザス・ロレーヌを割譲したのは[5. 普仏戦争] (1870~71)なので異なる。ちなみにアルザスは1648年のウェストファリア条約で仏領、普仏戦争で独領、WW Iで仏領となっている。

②アルジェリアに派兵し、植民地化に着手した。

※ アルジェリアに派兵したのは復古王政ブルボン朝のシャルル10世が国民の不满をそらすため。ギリシャ独立戦争におけるトルコの敗北に乗じて[6. 1830]年に派兵したが、その直後に七月革命を起こされて亡命。

③チュニジアを保護国化した。

※ フランスのチュニジア保護国化は第三共和政期の[7. 1881]年。チュニジアをめぐってフランスと領有権を争っていたイタリアはこれに反発し、翌82年にビスマルク外交の一環である[8. 三国同盟]に参加している。

④アロー戦争で中国に派兵した。

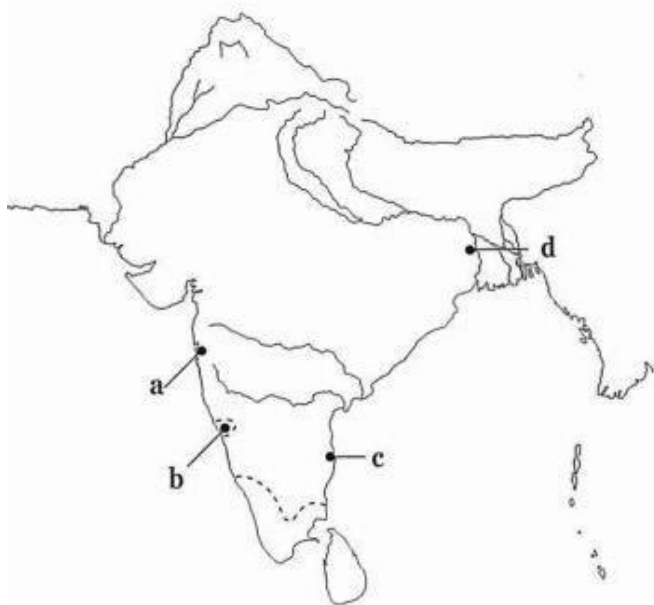
※ イギリスと共に中国に派兵し、[9. 1856~60]年にかけてアロー戦争を戦う。第二帝政下のブルボン三世時代の出来事である。

問 3. 1897年のイスタンブル人口における宗教・宗派の割合について

○オスマン帝国の首都イスタンブル

- かつての[10. ビザンツ帝国]の首都
- ギリシア正教の総本山[11. コンスタンティノープル]。
- オスマン帝国はビザンツ帝国の他、ギリシア正教を信仰する[12. セルビア]王国や[13. ブルガリア]帝国を滅ぼしており、多数のギリシア正教徒を支配していた。

3-2. 南・東南アジアの植民地化



問 1 1757年、インドにおけるイギリスの優位が確立した戦いの行われた場所

→[14. プラッシーの戦い]。ベンガル土侯・仏連合軍を破る。[15. ベンガル]地方は d

a) [16. ボンベイ]

→天然の良港。港湾都市。商業と娯楽。

b) [17. ゴア]

→ポルトガル領。アルブルケが占領。

c) [18. マドラス]

→東インド会社が要塞を築いたのが起源。南アジアの玄関口。現在は自動車や情報技術が盛ん。

問2【時系列整序】イギリスのインド統治 <シク戦争、東インド会社の解散、インド帝国の成立>

(1)イギリスが植民地競争でフランスに勝利

↓ イギリスは[19. プラッシーの戦い]でフランスを破ると、インド統治において優位に立つ。

(2)イギリスによるインド征服戦争

↓ インドの征服戦争を進め、南部からマイソール戦争、マラータ戦争、[20. シク戦争]で植民地化進む。

(3)植民地における反乱

↓ 植民地支配に不満が高まり[21. シパーヒーの乱]が起こる。

(4)インドの直接統治

↓ インドの統治機関となっていた[22. 東インド会社が解散]され、本国がインドを統治する。

(5)インド帝国の成立

↓ ディズレーリの提案による[23. ヴィクトリア女王]のインド皇帝兼任でインド帝国成立。

問3.【正文選択】列強の東南アジア植民地支配

①ポルトガルはジャワで実施した強制裁培制度によって莫大な利益を得た。

※1. 強制裁培制度を実施したのはポルトガルではなく[24. オランダ]。

※2. 1830年ウィーン会議により蘭からベルギーが独立。経済的代償を補うために[25. ファン＝デン＝ボス]が実施。コーヒー・砂糖・タバコ・藍などの商品作物を強制的に栽培させた。

②タイは東南アジアの中では唯一植民地支配を免れ、独立を保った。

※1. タイの[26. ラタナコーシン]朝は、イギリスとフランスの植民地抗争の緩衝地帯となり独立を保った。

※2. 映画「王様と私」ではタイの近代化政策が描かれる。

・[27. モンクット王](ラーマ4世)…ボーリング条約(1855)を締結するなど開国政策を展開

・[28. チュラロンコン王](ラーマ5世)…西欧的近代化政策に努める。

③ベトナムではイギリスの植民地支配に反対する黒旗軍の反乱が起こった。

※1. ベトナムを植民地支配したのはイギリスではなく[29. フランス]。

※2. 黒旗軍は太平天国の残党の[30. 劉永福]がベトナムで組織した中国人の義勇軍。

④ナポレオン戦争の後、フランスの海峡植民地とオランダ領東インドの領域が確定した。

※1. 海峡植民地を支配したのはフランスではなく[31. イギリス]。

※2. 海峡植民地はペナン島、シンガポール、マラッカから構成された。

3-3 清朝衰退期の中国

問1【正文選択】アヘン戦争

①戦争の過程で、民衆の組織した自衛団がイギリス軍に対して抵抗した地域もあった。

※ 民衆の組織した自衛団は[32. 平英団]。広州近郊の三元里の住民が組織した。

②中国は1842年の南京条約でイギリスにマカオを割譲した。

※南京条約でイギリスに割譲されたのは[33. 香港]。マカオは1557年以降ポルトガルが居住権を認められた。

③アメリカは中国と黄埔条約を結び、イギリスと同様な権利を得た。

※アメリカが結んだのは[34. 望厦条約]。[35. 黄埔条約]はフランスが結んだ。

④イギリスは左宗棠のアヘン取締りを契機に開戦した。

※1. アヘンを取り締まったのは、[36. 欽差大臣]林則徐。

※2. [37. 左宗棠]は洋務派漢人官僚。曾国藩のもとで太平天国の打倒に活躍。回教徒の乱をも鎮圧し、新疆を回復してイリ事件に関与した。清仏戦争では清軍の司令官となったが病没。